

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 108円(税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

衆議院法務委員長 衆議院議員

鈴木じゅんじ

国政報告・東京号

第193通常国会が平成29年1月20日に召集されました。会期は6月18日までの150日間。安倍晋三総理は「未来を拓く国会」と位置付け、同日に衆参両院本会議で行った施政方針演説で、引き続き経済最優先で取り組む方針を示しました。そこで昨年の臨時国会より引き続きの衆議院法務委員長に選任された「鈴木じゅんじ」衆議院議員(愛知県7区)に今国会への意気込み、抱負を伺いました。



国県市町、政権与党のつながりこそ！

Q 鈴木じゅんじさんは、第三次安倍改造内閣で経済産業副大臣として重責を果たされました。そして昨年一九二回臨時国会で引き続き衆議院法務委員長という責任ある役職に選任されましたが、行政の政務三役、そして今回、立法院の委員長として国政に携わり、今、見えてきたものはどのようなものですか？

A 議院内閣制の下では、与党議員と野党議員には明確な違いがあります。内閣総理大臣を輩出し、その総理の下で組閣される内閣による行政の運営上、内閣提出法律案も予算も税制も、その原案は基本的に与党の議論の中でまとめられますので、議院内閣制における与党議員は、立法院として法案等の審議はもちろんするものの、それ以上に大切な役割は、国会で審議する法案そのものを作る側にあるということです。

Q 政府与党である自民党の「強み」と言ってもよいですか？

A はい。その過程に全く関わらず、ただ声高な政府批判ばかりだけに終始する野党議員と異なり、議案提出に至る策定段階において、政府原案を叩き台に、いかに地域や現場の実態を踏まえたより良い法案や税制や予算案に仕上げていくかが、与党議員に求められる重要な役割です。連日早朝から始まる政務調査会各部会での議論は、まさに与党の立法プロセスそのものでもあるのです。

Q 今国会への意気込みを聞かせて下さい。

A 現在自民党では「私たちは結果を出していく！」を合言葉に経済最優先で『経済構造改革』と『働き方改革』の実現に積極的に取り組んでいます。これからも県議会、市議会、町議会の仲間とともに、地域の皆様の声に真摯に耳を傾け、山積する諸問題に全力を尽くして取り組んで参ります。

01 衆議院法務委員長



【第193回通常国会で法務委員会に提出が予定されている法案について】

- ◆裁判所職員定員法の一部を改正する法律案
- ◆裁判所法の一部を改正する法律案
- ◆刑法の一部を改正する法律案
- ◆民法の一部を改正する法律案
- ◆組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制に関する法律等の一部を改正する法律案、その他継続法案で4件、合計10件の法案が国会に提出される予定です。

鈴木じゅんじさんが委員長を務める法務委員会は、法務省所管事項、裁判所の司法行政に関する事項を対象とする国会（衆議院）の常任委員会、裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護等を担当しています。

法務委員会では鈴木さんは、これまで部落差別解消推進法や外国人技能実習制度適正化法等の審議（成立）を終え、民法（債券法）改正案の審議が進められてきましたが、この先、今国会最大の課題の一つでもある組織的犯罪処罰法改正案（テロ等準備罪・新設の審議が控えています。重大な被害をもたらすテロ等の組織的犯罪の未然防止や、情報提供や捜査協力等の国際連携の推進に係る国際組織犯罪防止条約（TOC条約）への加盟に必要な担保法（国内法）の整備がその内容ですが、国民世論の関心の高い重要法案だけに、鈴木委員長には与野党の枠を超えた充実した審議の促進が期待されています。

02 経済産業副大臣

鈴木じゅんじさんが経済産業副大臣に在任したのは平成二十七年一〇月八日から平成二十八年八月八日までの三〇五日間。その間、大小、国内外を問わず、企業、団体を訪問した数が述べ六六件（イベント海外出張含む。四日に一度のペースで視察、出張を行いました。

海外にあつては、国際会議を中心計五か国、国内にあつては現場の声を政策立案、施策や事業に反映させるとともに、価格制度や取引条件の改善等、制度導入促進に粘り強く取り組んできました。「中小企業的情熱

は日本の底力」、「中小企業の勇気は日本の未来」。自民党経済産業部会長時代同様、培った経験、人脈をフルに活かした活動が目立ちます。

自身の選挙区、愛知七区はこれから世界に発信する「中京大都市圏」、「産業首都ありち」の心臓部。ものづくり愛知の実情を勘案した制度設計と法整備の推進が必要であり、鈴木じゅんじさんの活躍が益々期待されています。



（平成28年5月11日 毎日新聞）

「世界にまだ知られていない、日本が誇るべき優れた地方産品（ものづくり・食・観光）」を選定し、海外に広く伝えていく経済産業省の事業「ワンダー500」。海外PR・マーケティングの対象となる優れた地方産品



写真「鈴木 経済産業副大臣 歓送の辞」と題された、経済産業省から贈られたものです。全6ページに及び内容は鈴木じゅんじさんが副大臣として困難な課題に取り組み、経済産業行政にどれだけ貢献したかを伺い知ることができるものです。全文をご覧になりたい方はホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

(http://suzukaze.net)

鈴木経済産業副大臣 歓送の辞（抄）

御就任以来、私どもを御指導くださいました鈴木淳司副大臣が経済産業省を去られるに当たり、職員を代表して、心からの御礼の御挨拶を申し上げます。鈴木副大臣は、昨年十月の副大臣御就任より、直ちに陣頭指揮を開始されました。「現場重視」の信念の下で国内外各地に足をお運びいただき、現地を激励され、また、我々職員を御指導くださいました。「目立たないが本当に頑張っている人こそ支えるべき」。この誠実で温かなお気持ちで、副大臣は常に現場に向き合われました。

とりわけ表彰式典には積極的に御参加いただき、いい仕事に「いい」と伝えるポジティブアクションが如何に大切か、特に中小企業にとって如何に貴重な経験であり、勇気づけられるかを、率先した行動をもって我々職員にお示しになりました。（中略・・・）下請けに不利な取引慣行がまだまだ根強い中、ヒアリングを通じて大企業の意識改革など大変粘り強い取組を、各官を巻き込みつつ進めていただきました。これは、「現場の劣に報いたい」とのお気持ちだけでなく、「中堅・中小企業が活性化してこそ賃上げと消費拡大が実現し、経済の好循環につながる。」とお考えに基づかれたものでした。まさに、現場と政策の双方に明るい副大臣ならではのリーダーシップの発揮でありました。

鈴木副大臣のお人柄、政策への御見解が一層際立ったのは熊本地震への対応のときでした。大分の温泉街、本来であれば揺き入れ時の風爽やかな「ゴールデンウィーク」、傾いた建物を見つめて肩を落とす旅館の女将とお話を交わされた副大臣は、非常に沈痛な面持ちであったと聞いております。（中略・・・）我々は、常に立場の弱い人々の想いに深く寄り添う、副大臣の政治家としての原点を垣間見た気がいたしました。

上海で開催された「G20貿易大臣会合」は、（中略・・・）そのような強行スケジュールの中、副大臣のお力により、世界経済の先行きを左右する重要交渉の場で、鉄鋼供給過剰問題の解消と、WTO環境物品交渉の妥結という、大きな成果を残すことができました。また、昨年十一月、パリで痛ましいテロ事件が起きた直後、実行犯が未だ市内に潜伏する中で「EIA閣僚理事会」に御出席され、日本を代表して決してテロに屈しない」と、毅然とした姿勢を各国に示していただきました。（中略・・・）

最後になりますが、職員一同、副大臣が身をもって示された信念・思いや、我々職員への御厚情を胸に刻み、これからも日々困難な課題に取り組んでまいります。経済産業副大臣の職を辞された後も、引き続き、経済産業行政の良き理解者として、私どもに御指導を賜りますことをお願い申し上げます。鈴木副大臣、本当にありがとうございました。

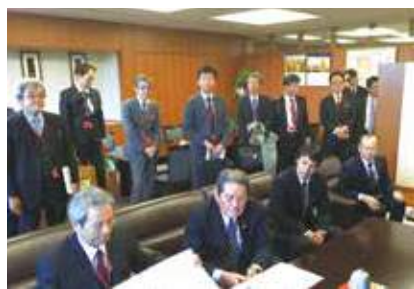
平成二十八年八月八日

経済産業事務次官 菅原郁郎

03 ふるさと第7選挙区 活動

国・県・市町の連携、さらなる強化

平成二九年度予算（一般会計総額九七兆四千、五四七億円）は三月二七日の参議院本会議で、自民党などの賛成多数で可決、成立しました。一億総活躍社会の実現、経済再生と財政健全化の両立の実現に向け一層取り組みを強化しなければなりません。第七選挙区支部では、自民党愛知県連・地域連絡会議に提出された「平成二九年度予算編成に係る要望」に基づき、地方都市リノベーション事業や道路事業、街路事業、学校施設環境改善事業など、各市長を中心に中央省庁に陳情、現状報告、検討を重ねることで国（政府与党・中央省庁）・愛知県・各市町の繋がりの一層の充実を図って参りました。



▲瀬戸大府東海線期成同盟会の要請活動（瀬戸市・大府市・長久手市・豊明市・尾張旭市）。第7選挙区内、各市長の方々が国交省へ要望活動を行いました。この幹線道路は鈴木じゅんじ議員も衆議院本会議の登壇質疑で取り上げ（平成20年2月21日）、平成29年度予算で瀬戸菱野橋工区に約1億5千万円、長久手工区に約1億5千万円が投じられ引き続き全線開通に向けた整備工事が続けられることになりました。（平成28年11月9日）



▲学校施設環境改善事業で豊明市が文科省を訪問し打ち合わせを行いました。平成28年度第二次補正予算では豊明市・尾張旭市・大府市・日進市・長久手市それぞれの小中学校で環境改善事業が進められます。（平成29年2月17日）

▲尾張旭市が都市再生事業整備計画の要望、説明に国土交通省を訪問しました。（平成29年4月1日）

▲10万人都市にふさわしい都市基盤整備推進の為、日進市が同じ愛知の仲間でもある根本幸典・国交大臣政務官を訪問し、スマートインターチェンジ整備事業の継続的な技術支援要請を行いました。（平成29年1月25日）

▼長久手市議会の皆さん



▲文科省、国交省への要請活動。写真は参議院自民党・幹事長室にて、愛知県選出、酒井庸行・参議院議員とご一緒に。（平成28年11月11日）

▼尾張旭市議会の皆さん



▲尾張旭市議会の皆さんがお越しになりました。写真は自民党本部でのもの。防災対策について砂防会館にも立ち寄られました。（平成29年1月17日）

▼豊明市議会の皆さん



▲豊明市議会の皆さんと消防庁が意見交換をいたしました。市内消防団の活動報告、女性団員の必要性等、地域防災について議論されました。（平成28年11月1日）

▼東郷町議会の皆さん



▲この日は東郷町議会の皆さんが第一議員会館にお越しになり、文科省の方々と「今後の学習指導要領改訂スケジュール」について、活発な意見交換を行いました。（平成28年10月26日）

▼日進市議会の皆さん



▲日進市議会の皆さんが国交省、大野泰正大臣政務官に要望を行った時の様子。道路局長に陳情の後、学校環境改善事業の要望に文科省にもお伺いしました。（平成28年12月12日）

▼瀬戸市議会の皆さん



▲瀬戸市議会の皆さんが自民党本部にいらした時の写真。小中一貫教育の在り方、市内病院改築事業等、要望・意見交換を活発に行っています。（平成27年8月10日）

▼大府市議会の皆さん



▲大府市議会の皆さんが経済産業副大臣室にて、「大府ウェルネスバレー構想」について、医療機器の観点からものづくり愛知ならではの意見交換を行いました。

基礎自治体は、福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を担っています。第七選挙区支部では、各市町行政と各市町議会との連携をさらに図り、中央省庁担当局課への要請、勉強会を行ってきました。例え同じ分野の事柄でも、それぞれが抱える事情は違います。地域の実情に即した行政サービスが提供されるよう、市町議会、県議会と手を携えて活動しています。

自民党愛知県第7選挙区支部

中央新幹線起工式



尾張旭クリスマスキャンドルナイト



大府市消防団年末夜警激励



東郷創立110周年記念
町民ふれあい年総会



本地ヶ原校区餅つき大会（尾張旭）



尾張旭市新年賀詞交歓会



クリスマスパーティーにて



山口八幡社節分祭（瀬戸）



日進でのミニ集会



陶神オリバーと



国政報告会（豊明）



山本大臣をお出迎え（長久手）



衆議院法務委員長 衆議院議員

鈴木じゅんじ

プロフィール

昭和33年 愛知県瀬戸市で生まれる。瀬戸市立陶原小学校、瀬戸市立水無瀬中学校、愛知県立千種高等学校、昭和57年早稲田大学法学部卒業。同年、故・松下幸之助氏の熱い呼びかけに共鳴し、松下政経塾入塾。

平成3年より瀬戸市議会議員（2期）平成15年衆議院議員初当選（現在4期）総務大臣政務官、自民党政務調査会副会長、政調会長補佐、経済産業部会長、中小企業・小規模事業者政策調査会事務局長、衆議院経済産業委員会理事、経済産業副大臣等を経て、現在、衆議院法務委員長、自民党愛知県連副会長。

鈴木じゅんじ事務所

〒489-0929 瀬戸市西長根町83 Kインタービル2F

TEL : 0561-89-3611 FAX : 0561-89-3655 H.Pアドレス : suzukaze.net E-mail : info@suzukaze.net

フェイスブック更新中!

